

3-17 食品廃棄物等を原料とした堆肥を製造し、飼料作物を生産
(株式会社エイゼン)

○ 株式会社エイゼンは、食品廃棄物や有機汚泥等を原料として堆肥を製造し、飼料作物を生産。その飼料作物は地域の畜産農家へ供給する循環型農業を確立。

国内資源の種類 肥料の種類・肥料名称 取組の経緯・内容

・食品残渣 ・学校給食の残渣 ・草・枝	普通肥料・汚泥発酵肥料
---------------------------	-------------

■作物

飼料用作物
(デントコーン)

■主要成分の含有量(%）、特徴等

N	P	K
3.6	5.8	2.2

取組の経緯

- ・株式会社エイゼンは、廃棄物処理やインフラ整備等事業を実施しており、地域の畜産農家から、堆肥の受け入れを要望されていた。
- ・平成22年、自らがその堆肥を活用してデントコーンを生産し、畜産農家に飼料として還元するべく農業参入。
- ・平成26年、食品残渣を受け入れていた企業からリサイクルの打診があり、それまでの炭化から、飼料・堆肥化に移行。
- ・令和5年には新たに刈草や剪定枝のリサイクルセンターをオープン。木質チップや堆肥等を製造。

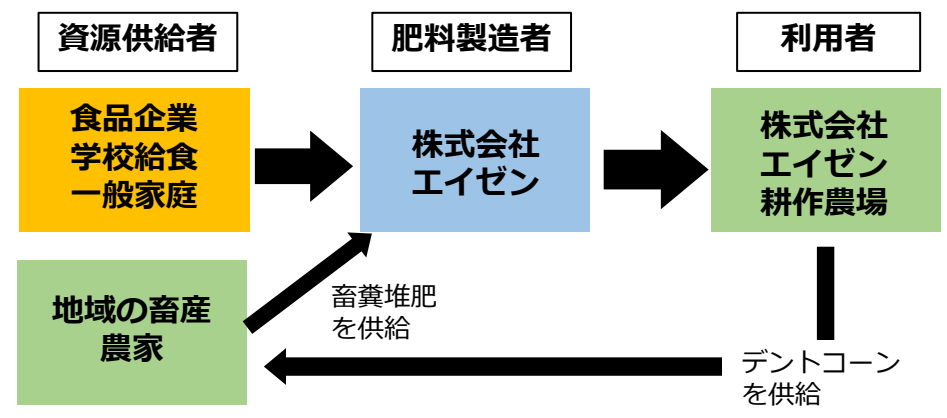
取組の内容

- ・耕作面積は約100haで、自社で製造した堆肥は全量自社農場に散布。

成果(見込み)

- ・自社農場では、自社堆肥、畜産農家からの畜糞堆肥、豚糞、鶏糞をメインに、デントコーンを栽培し、2~2.5t/10a収穫。

主たる取組主体と肥料利用までの流れ



今後の課題・取組

